

一般質問 (5面~7面)

3月1日~4日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

(自民党小金井)	自由民主党小金井市議団	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団	(緑・市民自治)	緑・市民自治こがねい
(公明党)	小金井市議会公明党	(市民会議)	こがねい市民会議
(市議会民主党)	小金井市議会民主党	(小金井自民)	小金井自由民主
(リベラル保守)	リベラル保守の会		

小金井市の防災に対する

取組について

吹春やすたか(自民党小金井)

(ア)上級救命講習を非常勤職員含む市の全職員を対象にできないか。普通救命講習やAED講習も検討をしないか。(イ)大災害発生の際、小金井市消防団と東京消防庁災害時支援ボランティアでの連携活動は検討できないか。(ウ)消防無線は、5月でアナログ波が廃止される。消火活動など迅速な対応を要求される小金井市消防団の団員への、デジタル受令機の配置を検討できないか。

総務部長 (ア)上級救命講習は正規職員の8割が受講済みである。未受講者の受講も図っていききたい。紹介された講習も検討したい。(イ)現状は未定であるが、合同訓練なども視野に入れ、消防署と協議していききたい。(ウ)いち早く緊急情報を把握することの重要性は認識している。予算や団員の要望などを聴取し、検討していききたい。

■その他、都施行の都市計画道路について質問しました。

住民追い出し・自然破壊

の道路建設に反対

関根優司(日本共産党)

(ア)市民行政協働で守ってきた武蔵野公園のはけの自然を破壊する今回の2つの都市計画道路計画について、小金井市議会の議論では、市側も議員も「あんなところに道路はつくれない」という共通認識があり、過去に建設環境委員会において、他市に都市計画の変更に関する視察まで行ってきた。東京都に対し、議会のこれまでの議論の到達は伝えられたか。(イ)大阪では終戦直後に計画が作られた都市計画道路を280路線廃止し、京都では105路線廃止しているが、都はほとんど廃止しない。都の方針はおかしいのでは。(ウ)住民の意見を聴き、市長はこの道路計画に反対すべきでは。

都市計画課長 (ア)都市計画マスタープランの内容は伝えていく。(イ)都は都市計画道路をつくらせていく方針である。

市長 (ウ)市民の意見を都に伝えたい。

今後の待機児童対策と

学童保育の未来を問う

岸田正義(市議会民主党)

①待機児童対策について。(ア)平成27年10月現在の待機児童数は。(イ)北部地域に認定こども園を作るべき。(ウ)所得階層に応じた認可、認可外保育園の格差是正の取組を。

子ども家庭部長 (ア)195人。(イ)北部地域に平成29年4月開設に向け着実に進めていく。

市長 (ウ)助成金月額千円増を提案。受益者負担見直しの財源活用で格差を解消する。

②学童保育全入制の継続は、子供を真ん中に置いて議会も行政も保護者も関係する大人が知恵を合わせて取り組むべき喫緊の課題。(ア)既に167人の乖離があり、予測を見直すべき。(イ)臨時的ではなく抜本的な対処が必要。放課後子ども教室の拡充など放課後の居場所のビジョンを早急に議論すべき。

子ども家庭部長 (ア)現状把握を行い早急に大規模解消に向け対応を進めていく。

市長 (イ)全入制の維持、子どもの居場所づくりには教育委員会に協力を求めていく。

高齢者が生き生き

暮らせる施策の充実を

水上洋志(日本共産党)

①新年度から廃止されるひとりぐらし高齢者会食会とさくら体操が存続できるように、対策を求める。説明をしっかりと行うべき。

福祉保健部長 会食会は福祉会館閉館に伴い、見直した。体操は10月からの総合事業の開始に伴い、従来の介護予防事業の見直しを行う。周知と説明に努めたい。

②総合事業によりサービスが切り下げられないよう求める。(ア)要介護認定の権利を保障すべき。(イ)ボランティアやコーディネーターの充実を。(ウ)介護職員の処遇改善を。

福祉保健部長 (ア)利用者が認定申請を希望すれば拒否できない。(イ)研修については東京都健康長寿医療センターの助言を受けて検討し、地域包括支援センターなどと連携していく。(ウ)都の施策も活用し、介護人材の確保に努めたい。

■その他、東小金井駅へのバス路線新設を求めました。

地方交付税の歳入の影響について問う

中山克己(自民党小金井)

平成27年度の普通交付税は基準財政収入額が基準財政需要額を上回ったため、本市は不交付団体となった。歳入への影響は。また、地方交付税法に基づく交付のため市の努力によって交付されるものではないが、危機的な財源不足、厳しい財政状況の状態のまま不交付団体であることを認識して今後の財源確保に努めていただきたい。

企画財政部長

地方消費税交付金が多く交付されること等から不交付団体となり、臨時財政対策債は起債の発行ができなくなった。基準財政需要額の算定基礎となる単位や補正係数が毎年度のように改定されるため、影響額の経常的な把握は難しい。

■その他、「東京オリンピック・パラリンピックに向けたキャンパ地招致活動」「小金井市のふるさと納税の現状と推進」「地方創生総合戦略の今後」「電力自由化への今後の取組」について質問・提案しました。

道路計画と障がい者スポーツについて問う

露口哲治(小金井自民)

①(ア)都市計画道路小金井3・4・1号線の完成により、連雀通りの危険な狭い道路の通行車両を減らし、緊急時の輸送道路や火災時の延焼遮断効果が期待できると考えるが、見解は。(イ)一部ではあるが、国分寺崖線の緑の景観や湧水への影響が懸念されるという意見もある。市の見解を問う。

都市整備部長

(ア)連雀通りの狭隘な部分に都市計画線がないことや、既に堅い建物があるため、道路拡幅による安全対策は難しい。(イ)具体的な計画は今後であるが、周辺の緑や自然に配慮した施工法及び構造を選定するよう、都へ伝えていく。

総合体育館や栗山公園健康運動センターでの障がい者スポーツ事業への取組は十分配慮されているか。

生涯学習部長 指定管理者の自主事業は、現状不十分かと思う。重要性は認識しており、講習会や研修の成果をいかしていく。

「茶の湯文化」発信等五輪を発展の起爆剤に

宮下 誠(公明党)

①作法にのっとりお茶を楽しむだけでなく、茶室や掛け軸、工芸品、お菓子に至るまで、広い意味で茶の湯文化、茶道は日本文化を凝縮していると言える。日頃、江戸東京たても園に多くの外国人が訪れており、東京大茶会等の行事と合わせて観光ツアーを行うなど、取組を始めてはどうか。

市民部長

茶道は、市外からの来訪者、特に外国人の心をつかむツールとして、市にとっても大変魅力的な要素である。市の大変な行事では、現在、文化連盟の活躍により様々な茶席が設けられている。茶道以外にも市の魅力は様々あり、年5回の茶席の開催に合わせた観光ルート拡充など、観光協会と相談して実現できるよう努力する。

東京五輪は開催までが全てではない。

市民部長 既存の地域資源なども活用しながら、拡充・実現できるよう検討したい。

献血の推進で支え合いのまちづくりを

小林正樹(公明党)

①血液は長期保存がきかない。また、輸血の80%以上はがん治療や血液疾患治療などで使われ、多くの市民が恩恵を受けている。(ア)命の授業で取り上げないか。(イ)イベントでのワークショップや、まなびあい出前講座など、啓発の工夫ができないか。

学校教育部長

(ア)校長会等を通じて情報提供や啓発をしたい。

福祉保健部長 (イ)関係機関と調整検討したい。より良い啓発に努める。

②平成22年度から学校のICT化が進んできた。多摩市愛和小学校では1人1台のタブレットが支給され、学習効果が出ている。小金井市でもタブレット導入の促進とICT授業の充実をしないか。

学校教育部長

有用性は国と都と同じ見解である。導入に向けて研究をしたい。

■その他、市長の掲げるブランドデザインについて確認をしました。

人と動物が共生するまち小金井を

渡辺ふき子(公明党)

①増え続ける飼い主のいない猫対策について。(ア)窓口の明確化など、市の取組は進んでいるか。(イ)他市を参考に、避妊・去勢手術に対して補助金を導入しないか。

環境部長 (ア)環境政策課を窓口にして、市民ボランティア登録制度や、捕獲機の貸出し等の体制整備をしているほか、飼い主のいない猫セミナーの後援をしている。(イ)まずは市民ボランティアと土台作りをしたい。

災害時におけるペットの救護体制やペット同行の避難訓練について広報すべき。

総務部長 市の総合防災訓練において、獣医師会による動物救護対策訓練が実施されている。さらに広報啓発したい。

市内の小学校で「子どもが自分で作るお弁当の日」を実施し、食に感謝する心、自立して生きる力を養うべき。

学校教育部長 実施に向けた課題はあるが、今後試行に向けて努力したい。